

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 松江市立女子高等学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒690-0835
島根県松江市西尾町540-1

E-mail matsueshijo@mable.ne.jp

Website http://www.shijyo.city.matsue.shimane.jp/

児童生徒数 男子 0 名 女子 337 名 合計 337 名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（エイズ啓発活動）

3. 活動内容

1. 1年間の主な活動内容について記載願います。

平成28年度の活動

①エイズに関する出張講座

(1) 実施日

実施日 訪問校 対象児童・生徒

平成28年 9月 8日 島根県立安来高等学校 高校2年生

平成28年 11月 1日 島根県立松江南高等学校 高校2年生

平成28年 11月 18日 松江市立母衣小学校 小学6年生

平成28年 12月 7日 八束学園 中学3年生

平成29年 1月 18日 松江市立朝酌小学校 小学6年生

(2) ねらい

長年、エイズに関する啓発活動に取り組み、国内外のさまざまな場で評価を得ている生徒会執行部との交流学习により、エイズに関する正しい知識と偏見や差別の払拭について学び、これからの生き方を考える機会とする。

(3) 学習活動の内容

- ・本校の取り組み
- ・エイズ、HIVとは
- ・感染経路（性感染、血液感染、母子感染）について
- ・検査について
- ・世界と日本のエイズの現状について
- ・偏見と差別について
- ・児童労働とフェアトレードについて
- ・まとめ（クイズなど）
- ・アンケート

2. エイズに関するプレゼンテーション発表

(1) 実施日

平成29年3月26日（日）（予定）

(2) 目的

ボランティア活動の啓発を目的に、あらゆる世代間のふれあいと交流、活動者の情報交換ができるよう、市民のボランティア意識の向上に寄与することを目的とする。

(3) テーマ

高校生が考える未来のまつえへの思い、これからのまつえのまちづくりの発展のために、プレゼンテーションを行う。本校は、エイズ啓発活動をテーマに、島根県の現状とエイズの正しい知識を伝える。

3. 世界エイズデー街頭キャンペーン

(1) 実施日 平成28年12月1日（金）

(2) 目的

世界エイズデーに合わせたエイズ撲滅のための啓発活動

(3) 内容

JR 松江駅でソロプチミストの方々と共にエイズ予防の啓発カード等を配布する。市民の方へエイズについて知ってもらい、予防の基礎知識を広める機会とする。

4. 生徒会リーダー研修会

(1) 実施日 平成29年2月4・5日(土・日)

(2) 目的

○世界各地様々な環境の下で生きている人々の現状や問題点について、JICAの方から講義を聴いたり、ワークショップを通じて、自分たちに何ができるかを考え、話し合い、生徒会活動の大きな柱である「エイズ啓発出張講座」をより充実したものとする。

○リーダーとして必要な発信力や課題対処法を、研修を通して学び、自分の考えを述べるときや、人前に立って話をするときに必要なコミュニケーションスキルを身に付ける。

○生徒会執行部役員、相互の親睦を図り、今後の生徒会活動が全員の協力のもとでスムーズに行えるようにする。

(3) 内容

○AMDA社会開発機構より講師を招き、テーマ「エイズ啓発に実践的な取り組み」について学ぶ。実際に、ホンジュラスでのエイズ啓発活動を体験。

○JICA島根より、テーマ「青年海外協力隊やフェアトレード」について学ぶ。チョコレートのフェアトレードや、本校卒業生がモンゴルへ青年海外協力隊へ派遣されていることを学ぶ。

5. 国際協力体験プログラム

(1) 実施日 平成28年7月30・31日(土・日)

(2) 目的

○体験を通して、国際協力の大切さや世界の現状を学び「知る」「理解する」「行動する」という3つの学習ステージを通し、積極的に自ら学ぶ力を養う。

○開発途上国の現状を知り、その原因・背景について理解する。

学びの意義を考え、知ると共に、学ぶ場がない人に対してどのような関わりができるか、考え、行動する。

○開発途上国への関わり方を積極的に考え、日常生活の中でどう行動につなげるか考え、立場の異なる人と協力して問題解決に挑む態度を持つ。

(3) 内容

○【講義】JICA事業紹介

○【講義】国際協力の体験談を聞こう①

○【ワークショップ】国際協力の体験談を聞こう②～青年海外協力隊員にインタビューするとしたら

○【テレビ会議】～現役隊員にインタビュー～

○JICA研修員との交流

○なりきり青年海外協力隊～国や活動先の概要を知る、アイデア出し、活動計画を作成 ⇒ 発表

6. ユネスコ「書き損じハガキキャンペーン」に参加

(1) 目的

書き損じハガキで、カンボジアの学校に行けない子どもが一月寺子屋で学べるようになることを目指す「書き損じハガキキャンペーン」に賛同し、実施した。

(2) 収集状況

平成29年1月～2月にかけて実施し、全校で419通の書き損じはがきを収集した。平成29年3月14日(火)発送した。

7. 熊本地震での被災者への募金ならびに応援メッセージ発送

(1) 目的

○募金を通して、被災者に対する思いやりの心を育てる。

○募金活動で、ボランティア精神を高揚させる。

○同様に、はがきによる応援メッセージを被災地(熊本県合志市)へ送付

(2) 実施内容

○昇降口で募金活動を実施。

16,786円を日本赤十字島根県支部に募金。

○松江市および郵便局と共同で、熊本県合志市へ応援メッセージを全校生徒337人がそれぞれ3通ずつ送付(計1,011通)

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他()